

## アーチ型の小屋梁が 古民家らしさを演出

南小国町の扇温泉「おき荘」は、同社にとって初の古民家風デザインの新築工事だっただけにその思い入れもひとしおだったと語る太田社長。「旅館の離れの工事依頼を受け、プランを検討するうちに、古材を使った古民家風デザインのプランを提案したところオーナーに気に入ってもらえたことができた。これまで自らイメージしていた古民家風のデザインプランの数々を、今回の物件では存分に設計取り入れました。」

玄関の引き戸を開けまです目に入るのが存在感たっぷりの見事な小屋梁。そのダイナミックな印象が、決して広いとはいえない玄関ホールに立体的な広がりを感じさせてくれる。玄関ホール右手には8畳ほどの居間が、襖を隔てて隣室は板張りの寝室になっている。居間は太い梁が印象的なもの、和室の天井で一般的な棹縁天井に、寝室は、今回の見所とも言えるべき、梁の架橋の様がいかにも古民家のそれと思わせる。小屋梁現し天井になっている。アーチ型の梁が層をなして重なる姿は、古民家の力強さと造形の美しさを感じさせる。古民家テイストのインテリアデザインの統一感を損ねたくない

との考えから、太田社長自ら、古民家で使われていた古材を利用したベッドをつくるなど、細部にまで、そのこだわりが見て取れる。

## スローライフなトレンドが、 古民家の再評価に

菊池、山鹿地域の古民家の再生、田舎暮らし支援活動を展開するNPO法人21世紀環境研究会（佐々木洋介理事長）が運営する菊池市西寺の古民家ギャラリー「二歩の家」は、地元の古民家を修復リフォームし今年4月にオープンした。竹細工、蔓で編んだ調度品などの民芸家具などの常設展示のほか、民家のある風景を撮影した高校生の写真作品展覧会「民家の甲子園（NPO2020年住宅再生ネットワーク機構主催）」など、その時々により開催される各種展示会、イベント会場として親しまれている。また同NPOの事務局でもあることから、田舎暮らしについての相談や、古民家情報の提供など、里山文化の情報発信基地としても話題を集めている。同NPO法人のメンバーでもある太田社長は「古民家とそれを取り巻く伝統的な生活文化を守り、現代に生かしていくことが非常に大切で、そのことが優れた住宅としての古民家の理解につながる」と語

地域の気候風土にマッチした洗練されたフォルムと機能、時代の変化にも柔軟に対応できるフレキシビリティの高さ。日本の古民家には、高度な木造建築技術を背景に、数百年あるいはそれ以上の永い歴史の中で培われた知恵と工夫が盛り込まれている。伝統に裏打ちされた完成された様式は、現代においても色褪せない魅力を放ち続ける。

合志市御代志の建設業・㈱太田建設の太田社長は、そんな古民家の魅力に魅せられ、新築中心の業務から、古民家で利用された古材を利用した建築、リフォーム、古民家の移築、再生へと事業を転換。古民家鑑定士並びに伝統資財施工技術士資格を取得するなど、これからの古民家ビジネスに大きな期待をかける。



写真：肥後民家村 田布施家住宅

社は、今でも地元民の崇敬を集めている。この西寺地区に、実に築500年と伝えられる古民家がある。以前は蔵として使われていたものを、今からおよそ200年前に住居として改築されたものだという。今日では入手することさえ困難ではないかと思われる一辺が30センチはあろうかという樫の大黒柱や、太く反りのある梁が、この建物が刻んだ歴史の深さを感じさせる。「父親が、古くからあるこの民家を知人から譲り受け、100m近く離れた場所に建てたこの民家を家現きしてきたものです」と現在この民家にお住まいの高宗さん。家史きを語り出した業者が途中で仕事を投げ出して後を受けた業者がようやくこの場所まで移動させ、移築に半年ほどを要したという。

※家史き・建造物を解体しない、機械または人力で水平に移動させ、別途に作った基礎の上に移す方法。

## 現代的な都市空間に 潤いを与える古民家テイスト

熊本市中心市街地で、最近古民家風テイストの店が数多く見受けられるようになった。レストラン、雑貨店、観光ホテル、洋品店など店舗の業態は様々だ。いずれも古

民家を持つ質感の高さ、落ち着いた風情、現代にない伝統的な意匠が、却って若者たちに新鮮な印象を与える。戦後急速な近代化の波の中で抜け落ちていた伝統的な価値観が、今また見直されている証拠ともいえるのではないだろうか。「古民家に使われている柱や梁といった大断面の構造材は、それ自体がほかにはない存在感を持っている。店舗設計に古材をうまく取り入れることで、インテリアに効果的なインパクトを与えることができます」と語る太田社長。同社では発注者の要望に応えられるようメンテナンスされた古材を数多くストック。「今後古民家への関心、評価が高まるのが、こうした資材流通の流れをお一層促進してくれるものと思います。熊本の貴重な文化遺産である古民家を生かしたビジネスの広がりに期待しています」と最後に今後の抱負を語った。



力強く躍動感のある柱が圧倒的な存在感を見せる「おき荘」の大門



同社では発注者の要望に応えられるようメンテナンスされた古材を数多くストック。



集められた木材は、木一本汚れを落とす、保たれる。

キャブリー一歩の家の間知裏でくつろいだ表情の太田社長とご夫妻

## 築500年。 伝統工法の威力を見る

菊池市西寺。ここは、かつて菊池一族の刀鍛冶として仕え、菊池千本槍で有名な肥後の代表的な刀工でもある延壽太郎、国村が居を構えた場所。その子孫を祀る八坂神

株式会社 太田建設  
代表取締役社長 太田 行雄  
所在地 〒861-0044 熊本県菊池市柳原1-1-10  
TEL 096-947-2400  
FAX 096-947-4157  
事業内容 新築・リフォーム  
中古家の移築  
http://www.tadatec.com/index.html  
太田社長は肥後民家村を営む中野氏